

クールジャパン戦略の推進について

【担当省庁】 経済産業省、中小企業庁

- 1 「アートと交流」をテーマとした伝統産業の新分野への進出と魅力を発信する拠点（「堀川アート&クラフトファクトリー（仮称）」）の整備事業にクールジャパン機構から出資していただきたい。

<堀川アート&クラフトファクトリー（仮称）の概要>

伝統産業の拠点・西陣地区に近い店舗付き集合住宅を、伝統産業等ものづくり（クラフト）やアートを基礎に幅広い交流・産業振興拠点として整備

- 2 TPP協定を契機に、クールジャパン戦略に基づき企業の積極的な海外展開を促進するため、海外の「ジャパンモール」において京都の伝統工芸等の魅力を発信するとともに、「JAPANブランド育成支援事業」の十分な予算を確保していただき、京都企業の事業を採択していただきたい。

<クールジャパン機構の事業>

- ・クールジャパン関連企業への出資 資金枠 約 1000 億円
- ・ジャパンモール（マレーシア・クアラルンプール）におけるオープニング企画
開催期間：平成 28 年 10 月下旬から 1 ヶ月間
企画内容：京都の伝統工芸・文化と新世代アーティストにより日本の魅力を発信

<中小企業庁の概算要求>

- ・ふるさと名物応援事業（JAPANブランド育成支援事業）27 億円の内数
(27 年度予算額 16 億円の内数)
中小企業の新たな海外販路の開拓につなげるため、「ふるさと名物」などの地域産品の海外展開戦略の策定及び商品の開発や海外展示会出展等の取組を支援

【現状・課題等】

- 1 京都府は現在、伝統産業の拠点・西陣地区に近い店舗付き集合住宅の再生整備を進めており、伝統産業等ものづくり（クラフト）やアートを基礎に幅広い交流・産業振興拠点として活用する予定である。
国内外の有名アーティスト・デザイナー等と伝統職人とのコラボ等による、海外販路の開拓等の取組は、クールジャパン戦略に合致する。

2 京都は、長い歴史を有する和装・伝統産業から、ハイテク、IT、更には、映画、アニメ、ゲーム等のコンテンツ産業が集積している。

国のクールジャパン戦略を加速するためには、これら京都産業の海外発信が大きな役割を果たすが、企業の積極的な海外展開を促進するためには、京都の伝統産業やコンテンツ産業が貢献できる。

○平成 27 年度「JAPANブランド育成支援事業」の京都企業の採択実績

1 件（黄桜株式会社：海外戦略向け大吟醸酒を軸にした「新たな京もの」ブランドの確立）

※平成 25 年度 1 件、平成 26 年度 2 件

【参考】

◎「クール京都」海外展開事業（府事業 15,000 千円）

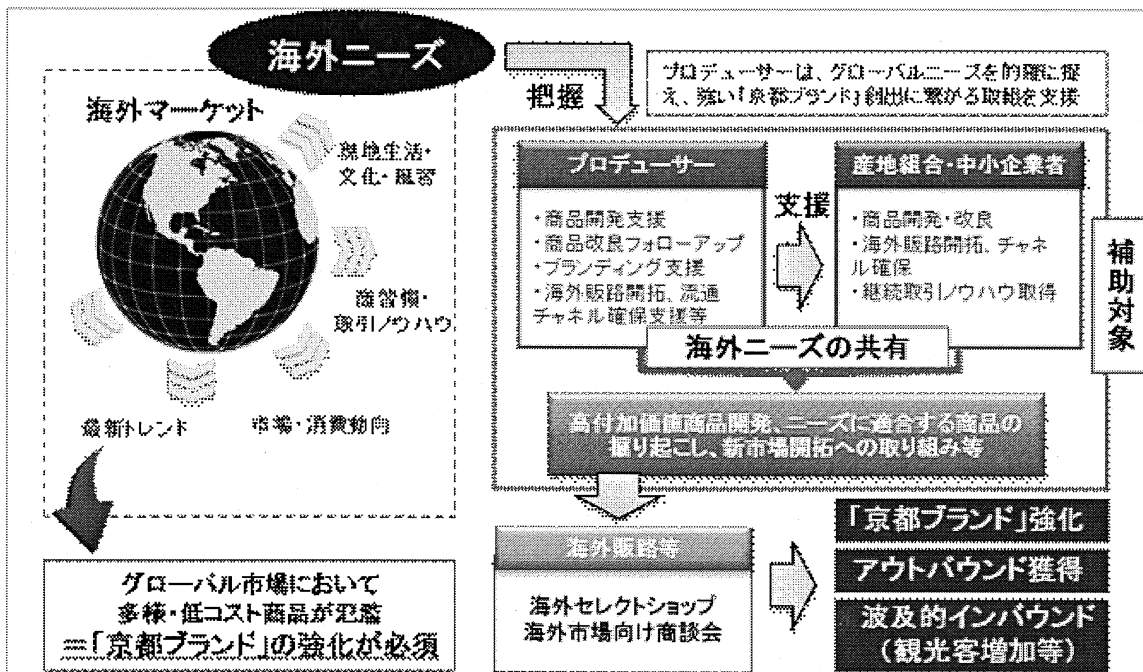
海外市場において「京都ブランド」の競争力を強化し、コスト競争によらない競争優位を図るため、高付加価値の付与された新たな京都の伝統工芸品の開発・市場開拓等の取組に対して支援（地方創生先行型交付金を活用して実施）

・補助対象者

海外の消費動向やニーズを把握するプロデューサー等と連携し伝統工芸品の海外展開事業に取り組む産地組合及び中小企業者若しくはこれらを含む協同体

・補助率等 2 分の 1 以内（補助金の上限 5,000 千円）

・事業イメージ



【京都府の担当課】

商工労働観光部 産業労働総務課 075-414-4820
 染織・工芸課 075-414-4856